

平成18年度 一般国道13号 新主寝坂トンネル防災訓練次第

1. 現地訓練 平成18年11月9日(木) 11:40~13:00

司会 山形河川国道事務所
道路管理第一課長

- | | | |
|-----------------------|-------------|------------------------|
| 1) あいさつ | 10:30~ | 山形河川国道事務所長 |
| 2) 訓練内容の説明 | 10:40~ | 山形河川国道事務所 新庄国道維持出張所長 |
| 3) 新主寝坂トンネル
防災設備概要 | 10:45~10:55 | 山形河川国道事務所 機械課長及び電気通信課長 |
| 4) 訓練実施 | 11:00~12:00 | |
| 5) 閉会の言葉 | | 山形河川国道事務所 道路副所長 |

2. 検討会 平成18年11月9日(木) 14:00~15:00 場所: 金山町中央公民館

司会 山形河川国道事務所
道路管理第一課長

1) 検討会

新主寝坂トンネル内事故想定概要

平成18年11月9日(木) 午前12時頃、一般国道13号 新主寝坂トンネル(延長 2.94 4m)内の金山町側坑口から約190m付近で、新庄方面から走向してきた乗用車の運転手が、運転操作を誤りセンターラインをオーバーし、秋田方面から走向してきた乗用車と正面衝突した。

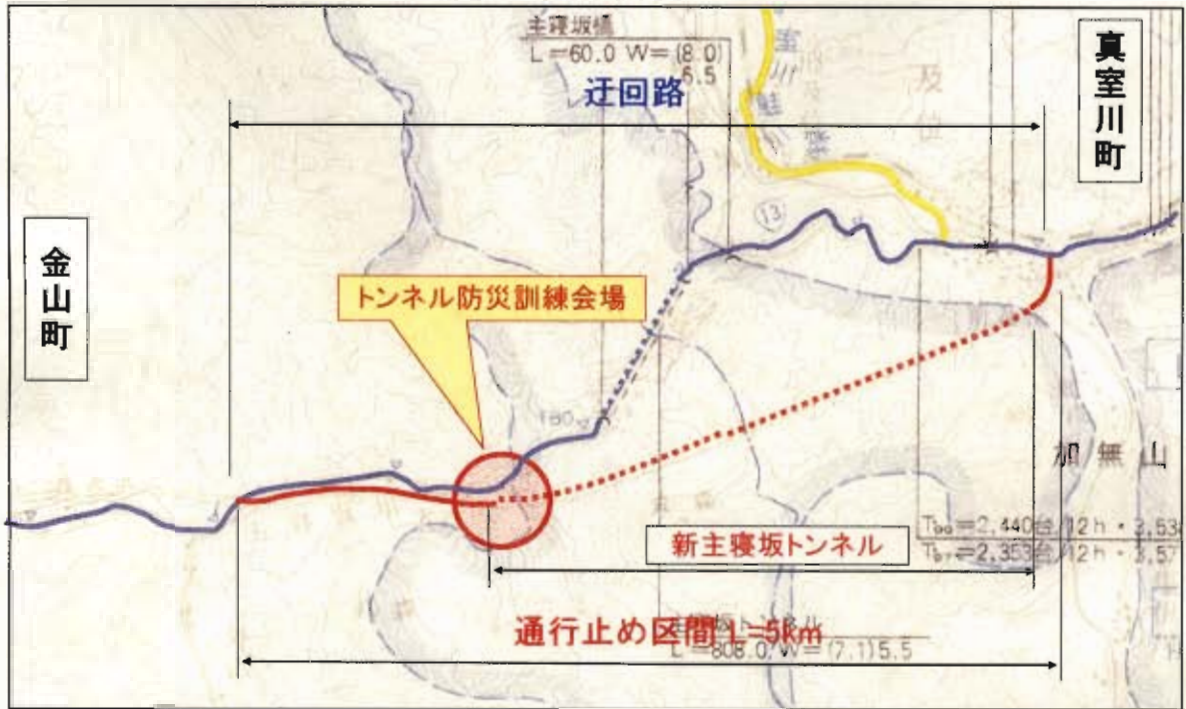
正面衝突した2台の車両には、運転手のみが乗車していた。新庄方面から走行してきた乗用車の運転手は重傷を負い車内に閉じこめられたうえ、乗用車のエンジン部分より煙が発生し、火災の危険がある。秋田方面から走行してきた乗用車の運転手は軽傷で、近くに設置してある押釦式通報装置及び非常電話(110番・119番)を使用し警察及び消防へトンネル内で事故が発生したことを通報した。

新庄方面から走行してきた事故車両には3台の後続車が走行していたが、事故の影響でトンネル内に閉じこめられたため、警察の誘導で金山側へ避難を行った。

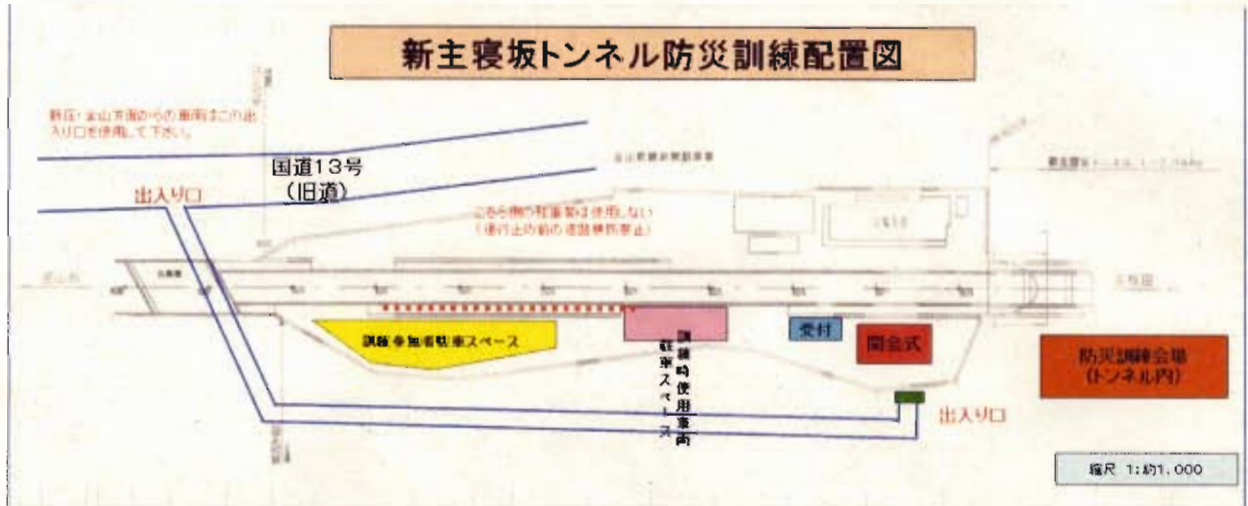
なお、新庄方面から走行してきた車両の損傷がひどく、新庄側から救助工作車・救急車が出動し、救助活動が行われた。

救助終了後、事故車より火災が発生したため、消防による消火活動が行われた。

訓練場所位置図



訓練場所平面図



新主寝坂トンネル防災訓練—トンネル内配置図

